

桃山学院中学校高等学校「学校評価」概略

2017年5月30日
桃山学院中学校高等学校
校長 田中 栄司

I. 学校評価に関するアンケート

桃山学院中学校高等学校では各種アンケートを下記のように実施してきました。

(1)生徒対象・・・2016年5月「生活と意識調査」(別紙集計結果 資料3 p10～p36)

アンケート項目 高校46項目のうち抜粋、中学29項目

回答件数 高校生全校2130名中2035件／中学生全校生361名中352件

(2)保護者対象・・・2016年12月(別紙集計結果 資料4 p37～p39)

アンケート項目 41項目

回答件数 全校2491家庭中888件(回答率36% 昨年31%)

(3)教員対象・・・2016年12月(別紙集計結果 資料5 p40～p42)

アンケート項目 45項目

回答件数 教員103名中79件 回答率77%(昨年度107名中100件93%)

※その他のアンケートとして「健康調査アンケート」「授業評価アンケート」なども実施

II. 教育活動に関して

2015年の年度末の総括を踏まえ、2016年度新たに方針を見直し、3月末から4月の校務運営委員会、合同職員会議をへて意思統一をはかり、教育活動に取り組んできました。

2016年度は3つの最重点目標(1)建学の精神を日常にする(2)大学合格実績の向上(3)いのちの教育のさらなる推進を掲げ、さらに、9つの中長期的な目標と、各学年各校務分掌ごとにそれぞれ目標を設定しました。内容は別表「学校評価活動 評価票」(資料2)にまとめました。2017年4月に開催された関係者評価委員会を開催し、別表「学校関係者評価」(資料1)にまとめました。

III. 関係者評価委員

桃山学院中学校高等学校校長	—
2016年度桃山学院中学校高等学校PTA会長	—
2010年度桃山学院中学校高等学校PTA副会長	—
2010年度桃山学院中学校高等学校PTA役員	—
長池連合会会長	—
あい保育園園長	—
桃山学院中学校高等学校同窓会会長	—

IV.2016年度 桃山学院中学校高等学校 学校評価のとりくみについて

学校評価の取り組みについて、会議、意見交換などは下記の日程で行いました。

2016年

- 4月6日 合同職員会議にて 2015年度の学校評価票（総括）、2016年度方針を確認
2016年度学校評価票の目標部分を作成
- 11月9日 運営委員会 2016年度総括と学校評価票完成に向けた流れを確認
- 11月16日 運営委員会 保護者アンケート、教員アンケートの項目を確認
- 12月1日 職員会議 2016年度総括と学校評価票完成に向けた流れを確認
保護者アンケート、教員アンケートの項目を確認
- 12月上旬～ 保護者アンケート、教員アンケートの実施
生徒意識調査のまとめの確認（生活指導部）

2017年

- 1月上旬 保護者アンケート、教員アンケートの集約作業
- 1月18日 運営委員会 学校評価保護者アンケート集計結果を報告・確認・意見交換
- 1月25日 運営委員会 学校評価教員アンケート集計結果を報告・確認・意見交換
- 1月28日 職員会議 学校評価保護者・教員アンケート集計結果を報告・確認・意見交換
- 12月～2016年3月 各学年・各校務分掌・各教科で2016年度の総括、2017年度の方針
各分掌にて総括をもとに学校評価を完成
- 3月7日 各部総括会議（その他の分掌も適宜総括）
- 3月10日 職員会議 各分掌総括報告
- 3月22日 2016総括2017方針のための運営委員会にて、2016年度学校評価票を確認
（2017年度の方針部分もあわせて確認）
- 4月6日 合同職員会議にて、2016年度学校評価票を確認
（2017年度分の方針部分もあわせて確認）
- 4月上旬 学校評価資料を関係者評価委員に送付
- 4月22日 学校評価関係者評価委員会を開催 意見交換
- 4月下旬 学校関係者評価委員会のまとめを製作し、関係者に郵送し確認
- 4月26日 学校関係者評価委員会まとめを運営委員会にて報告・意見交換
- 4月27日 学校関係者評価委員会まとめを職員会議にて報告・意見交換
- 5月16日 常務理事会にて2016年度学校評価（まとめ）を報告・確認
- 5月23日 評議委員会にて2016年度学校評価（まとめ）を報告・確認
理事会にて2016年度学校評価（まとめ）を報告・確認
- 5月末 ホームページにて公表予定

以上

2016年度 桃山学院中学校高等学校 学校関係者評価 2017年4月22日実施

【桃山学院中学校高等学校ミッション・ステートメント】

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、
生徒ひとりひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を开花させ、
健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

桃山学院中学校高等学校 中長期的目標に対する評価

<点数評価> 1. 評価しない 2. あまり評価しない 3. 改善の余地あり 4. 評価する 5. 大いに評価する

分類	評価項目	点数 評価	評価・提言
教育活動・ 長期目標	建学の精神を日常に	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・この部分のもっとも重要なポイントである。 この部分は長期的な取り組みとして評価したい。 ・地域住民として、 生徒は学力が高く上品な印象であると評価する。 ・「学力だけではない」という価値観を持つ 気骨ある生徒を育てるという、 学校のアイデンティティの確立を期待する。 ・学力の醸成はもちろん、卒業後の社会的活躍が期待でき、 母校に対する愛着を抱く生徒を育てることが出来ている。 ・歴史と伝統が持つ良いものをこれからも大切にされたい。 ・保護者のニーズを汲むことは大切だが、 学校が「一番大切にしていること」の軸が揺らいではいけない。 ・外部の者としては評価や点数を付けづらい部分ではある。 数字に惑わされず学校が価値を評価する部分ではないか。
	大学合格実績の向上	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力レベルが上がったようである。 ・学力向上に至る学校の取り組みが、 外部に具体的に伝わるようにすることが大切である。 ・桃山が、他校比でどの立ち位置にあらうとするのかを 明確にされたい。 ・社会的評価は「進学率」に集中するが、 学校の評価はそこだけにあるものではない。 ・桃山の教育には学力以外の付加価値があり、 桃山の素晴らしさが伝わる広報を期待する。 ・苦勞して、合格体験をした卒業生が在校生に アドバイスを語る機会があるといい。 ・中高一貫については、人間性の育成と 進学実績向上の両立に苦戦しているように見受ける。

	いのちの教育の さらなる推進	4.8	・今後も継続されたい。高く評価する。
教育活動・中期目標	キリスト教精神	3.4	・生活、学習、自治活動すべてに関わる「自主自立の精神」は「建学の精神」にも繋がる。 そのようなことを具現化するための、学校の理解と具体的な取り組みが知りたい。
	学習指導 (授業をたいせつに)	4.3	・継続的に授業評価の振り返り等が行なわれている。
	生活指導 (生活をたいせつに)	4.5	・登下校時に、細い通学道路に生徒があふれている。 特に下校時の動きに乱れがある。 住民の生活に影響が出ているので、 道路や信号のない交差点での指導や誘導を徹底されたい。
	自治活動 (自主活動をたいせつに)	4.4	・自主規律を尊重する伝統が 生徒に根付いているように見受けられる。 ・学校は生徒の主張に聞く耳を持っている。 そのような姿勢をアピールしても良いと考える。 ・自前でのクラブ指導には限界もあるので、 アスリートの育成のためにも外部指導者の導入が 必要ではないか。 ・プロなどの外部指導者の導入は生徒の士気も上がる。 ・桃山の生徒は自己決定が出来ている。 それは自尊感情を養い、学力や人間性の向上に繋がる。 ・職場体験やボランティアなどについて、 生徒による提案があっても良い。 そのような指導があってもよいと考える。
	進路指導 (進路をたいせつに)	3.6	・生徒の努力の成果が現れている。
	中高一貫教育 (中学生をたいせつに)	4.4	・毎年、必要に応じて改良が加えられている。
	入試広報 (受験生をたいせつに)	3.9	・桃山の教育には学力以外の付加価値があり、 桃山の素晴らしさが伝わる広報を一層期待する。
	いのちの教育 (いのちをたいせつに)	4.8	・最近では減少しているが、 地域の方々にも参加してもらえる取り組みをも期待する。 ・AED(1台でも)が外部の人も使用できる場所(正門など)に 設置してはどうか。

	その他 施設・キャンパスの整備	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの整備状況が気になる。 ・グラウンドのキャパシティに難あり。 ・F館の老朽化が目立つ。
--	--------------------	-----	---

その他 学校運営に関するもの

学校運営	情報公開	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・HP等で実施されている。
	危機管理	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等の整備、種々の訓練が行なわれている。
	地域交流	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園を用いた職場体験があり、生徒が手作り紙芝居の読み聞かせをしてくれた。 ・生徒による地域での植栽などの取り組みがあっはどうか。「地域の方々と、どうすれば共に気持ちよく過ごせるか」について考える機会にもなる。
	社会貢献	4.9	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が地域の掃除をしてくれていた。
学校評価	学校評価のためのアンケート	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果によると、学校の個人情報保護の実態のポイントが低い部分がある。また、学校内でのハラスメントに対する評価が低く、気になる部分である。 ・理解できていない内容の設問について回答する際に、「評価出来ない」という選択肢があれば答えやすい。 ・保護者向けのアンケート方法について、対象を無作為抽出したほうが具体的にリアルな意見が出てくるであろう。 ・保護者や生徒の教員に対する評価は高い。教員側が謙虚な評価しているように見受けられる。
	学校評価の活用	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度実施されていると評価できる。

2016年度 学校評価活動

I. めざす学校像(ミッションステートメント「建学の精神」)(長期的目標)

本学の建学の精神は、キリスト教精神である「自由と愛」です。自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とは一人ひとりの人格と主体性を尊重すること。「愛」とは互いに仕え合いながら他者と共に生きることです。この自由と愛の精神は、単にキリスト教の立場だけでなく、全ての人間が一致する普遍的な理念であり、人類共通の目標です。人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想を目指してチャレンジしつづけていくこと、それこそが桃山学院の一世紀を超える伝統が目指そうとする「キリスト教精神であり、「世界の市民」への道なのです。

II. 重点目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
1. 建学の精神を日常にする	(1)本校の特徴・特色、アイデンティティを内外に押し出す	(1)①学校説明会や集会などで建学の精神の積極的に取り上げる話をする ②キリスト教主義に対する理解を深める	(1)①各集会などで積極的に話題にする ②朝礼時の聖書の話以外にも、授業以外の場面でもミッションスクールとしてのカラーを押し出す工夫をする	△	校長としてキリスト教主義に対する理解を深めることができなかったと考えている。様々な機会を利用して深めたい
2. 大学合格実績の向上	(1)自習室の充実＝自分で勉強できる生徒を育てる (2)キャリア教育の充実＝将来へのモチベーションを高める (3)高大接続、入試改革、グローバル人材育成への対応も視野に入れる	(1)①プレミアム自習室のソフト面の整備。自習環境の整備。 ②教科指導との連携強化 ③手帳などを活用した自学自習の習慣の確立 (2)①キャリア教育についての理解を深める ②プロビデンスターの充実 (3)①高大接続などの学習会を開催し理解を深める	(1)①自習室の利用率向上を目指す。②授業見学を進展させ、各教員の授業研究の場となる。③活用率の向上 (2)①教員の意識向上②アンケートでためになった、良かったが80%以上を目指す。	△	種々の施策を実施して一定の成果を取ることができている見通しを持っているが、まだ道半ばと考えている。
3. いのちの教育のさらなる推進	(1)生徒と教職員の笑顔を教育活動の根底に据える	(1)AED講習を実施する(関係者) (2)東北ボランティアの発展 (3)地域との連携強化	教職員・生徒は年1度は全員参加	①○②○ ③○	①例年どおりかなり定着してきている。②については、熊本へ変更になった。誓プロジェクト講演会を外部の方も参加できるようにしたが、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。

III. 中期的目標(3年が目安)	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
1. キリスト教精神をたいせつにする	2016年度方針の「建学の精神を大切に」という項目が実際の学校運営に生かされていくことへの支援	建学の精神がどのような形で運営に取り入れられているかを振り返るためのチェックポイントを作る	この取り組みへの運営委員会で理解が得られること	△	精神的なものに「チェックポイント」をつけることには慎重であるべきということに思い至り、具体的に提案できなかった。来年度は別の観点から取り組またい。
2. 授業をたいせつにする	①ベル着の徹底 ②自習時間をできるだけなくす。 ③授業見学	①ベル着の徹底 ②自習時間をできるだけなくす。 ③授業見学		○	①概ね実行できている②当日の欠勤に関して適切な教材が準備できていないことがある③概ね実行できている。
3. 生活をたいせつにする	①自主規律の確立 ②挨拶の励行 ③遅刻防止 ④提出物の徹底 ⑤インターネット上のトラブル防止 ⑥携帯電話の使用マナーの徹底	①自主規律HRの活用 ②自治会指導部との連携 ③遅刻管理システムの活用 ④提出状況を通して、学力の向上や信頼関係の構築につなげる ⑤ネットマナーを学ばせ人の気持ちを考えるよう指導 ⑥使い方を指導し、マナーの会得や学習時間を確保させる いずれの項目とも特別生活指導週間、始業式終業式などでの呼びかけ	①実施内容のレビューとワークブックのフィードバック ②生徒教職員への意識付け ③昨年比数値 ④反省文の回収 ⑤問題件数の減少	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○ ⑥○	①②:自主規律HRは自治会執行部へ移譲、生徒教職員への働きかけと協力を得て活動。今後も継続したい。 ③④:数値管理とともに反省文の提出の徹底なども遅刻数は減少した。 ⑤⑥と全体:各学期始業式終業式のほか4回の特別生活指導週間、生活点検等を通して節目ごと年間を通した継続的な指導で案件の減少など目標を達成してきた。今後も継続して指導したい。
4. 自主活動をたいせつにする	①自主規律の確立 ②自治活動の活性化 ③学校行事の発展・教員の役割分担	①HR委員会・各種委員会の活性化 ②方針、会則等の確認 ③各行事の準備段階で分業する。	①各委員会の総括 ②総括アンケート ③各行事の実行委員の獲得と意識化・役割の明確化	①△ ②○ ③○	評議委員会、文体連の各長を決定し、活動が再開できるようになった。継続して各委員会が自主的に活動できるように指導をする。執行部が総括アンケートをまとめ課題を少しずつはあがるが改善しようとしている。各行事の実行委員数は激増しており、役割分担等も出来始めている。過去の「1丈の短いズボン等の着用」の要望についても具体的な自治会活動へと執行部生徒を中心に取り組んでいる。
5. 進路をたいせつにする	①面談の充実 ②モチベーションアップ・自学自習への指導・仕掛け	①担任による面談の頻繁化・活性化 ②進路指導イベントの計画的実施	①生徒からの反響 ②行き当たりばったりにならず、計画的にそれぞれのコースに応じた取り組みを適宜行う。	①② ○	進路指導に関するイベント、HRなど、各学年で計画的、且つ、創意工夫を盛り込んで、実施できた。
6. 中学生をたいせつにする	①校内での理解を得る ②世間からの評価を得る	①中学受験に関する情報発信 ②中学行事への協力依頼 ③積極的な塾訪問	①学校説明会への参加者増 ②プレテストの受験者増	①○②○	一定の成果は出たと思うが、次年度も更なる受験者増に向けて取り組みたい。
7. 受験生をたいせつにする	入試統括室方針に同じ				
8. いのちをたいせつにする	(1)生徒と教職員の笑顔を教育活動の根底に据える	(1)AED講習を実施する(関係者) (2)東北ボランティアの発展 (3)地域との連携強化	教職員・生徒は年1度は全員参加	①○②○ ③○	①例年どおりかなり定着してきている。②については、熊本へ変更になった。誓プロジェクト講演会を外部の方も参加できるようにしたが、より多くの方に参加していただけるようにしていきたい。
9. その他	①キャンパスの整備	①自習室の充実②その他施設の充実	①自習室の活用度②その他施設への意見など	①○②△	①自習スペースのさらなる充実が必要 ②F館の老朽化など今後の課題

(各部門ごとの目標)

IV. 各学年別目標(中学職会・担任会)	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
中学1年	中学生としての基本的な生活習慣を習得させる。またPDCA/AーTを使用して計画の重要性を知る	欠席・遅刻等の指導の徹底	遅刻・欠席の減少。PDCA/AーTの徹底	○	不登校傾向、学力不振の生徒が多く、全体的に学習面では下に引っ張られてしまった。今後は、上位を伸ばす指導を中心にしていける必要がある。
中学2年	遅刻・欠席をできる限り少なく押さえる。基礎学力をしっかり身に付ける。	遅刻生徒について、担任団での情報の共有を強化する。宿題の提出における質を上げる。	遅刻・欠席の減少。宿題の意義の徹底	○	遅刻・欠席に関しては、最小限に抑えられた。宿題の質に関しては、ある程度の成果は見られたが、さらに強化していきたい。
中学3年	高校進学に向けた意識作り	学部学科調べ(グループごとで割り当てられた学部を調査し、画用紙にまとめる)	夏の東京勉強合宿で、関東の有名大学を見学し、意識を高める。	○	左記に書かれた内容以外にも、職業体験などを通して、進路選択に対する意識づけをしてきたつもりである。それなりの成果はあったと思うが、まだまだ夢、目標、進路に対する意識は高いとは言えないのが現状である。

高校1年	(1)学習習慣の確立 (2)生活習慣の確立	(1)面談を強化し、各種HRの取り組みにより生徒の目標意識を確立させる。(2)挨拶の励行。節目に学年朝礼を実施し、行事後等の切り替えを行う。	(1)学習に対してのモチベーションの維持・能動的な学習姿勢の確立(2)けじめのある学校生活	(1)○(2)△	(1)各種HRでも色々な企画のもとモチベーションアップにつながった。(2)みだしな違反や軽微な補導が若干多く感じられた。
高校2年	(1)最終学年へ向けての学習意識の向上 (2)生活習慣の確立	(1)面談、手帳を活用し、目標とそれに向けた学習計画を立てさせる。(2)基本的な生活習慣を日々指導する。	(1)志望校を決定させ、それに向けた必要な取り組みを行う。(2)遅刻、身だしなみ違反、携帯電話の使用違反を減らす。	△	担任による面談は充実していたが、手帳の活用に関しては、個人差が見られた。次年度も引き続き自己管理できるように指導したい。遅刻や携帯電話の使用違反に関しては、引き続きの指導が必要。大学進学実績を向上させるため、次年度も学年団で統一した指導を行いたい。
高校3年	(1)志望大学への現役合格 (2)生活習慣の確立	(1)センターマラソン、各種講習 (2)各種行事後の切り替え	(1)現役国公立大学合格者数の増加(2)遅刻削減	△	国公立の可否はまだ不明であるが、推薦合格者の増加は見られた。センター試験の結果も概ね良い結果であった。切り替えはできていたようであるが、遅刻は常習の者に改善はみられなかった。

V. 各コース目標(コース会議)	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
一貫コース進学	大学合格実績の向上	六年一貫指導計画のさらなる充実、改訂。	模擬試験の結果。最終的な大学合格実績	○	まだすべての大学入試の結果は出ていないが、関西四私大、国公立もある一定数の合格を見込めそうである。
一貫コース選抜	大学合格実績の向上	六年一貫指導計画のさらなる充実、改訂。	模擬試験の結果。最終的な大学合格実績	○	まだすべての大学入試の結果は出ていないが、関西四私大、国公立もある一定数の合格を見込めそうである。
文理コース文理(理II含む)	国公立大学や難関私立大学の進学実績向上、生徒の幸せ	コース集会を頻繁に実施、早朝テスト、放課後の講習の充実、センターマラソン、早朝学習会など	①普段の授業態度 ②模擬試験や定期考査の結果 ③最終的な実績	①○ ②○ ③?	コース集会、早朝テストは有効に活用できたと思う。一方で、放課後の講習やセンターマラソンなどは出欠が雑であったように思う。やるからには最後まで徹底すべきであった。
文理コースアスリート	5クラブ、全国大会出場	強化合宿の充実	近畿・全国大会への出場を最低目標に、全国での上位進出を目指したい。		
英数コース	国公立大学合格実績の向上	1年次からの進路意識付け 国公立2次対策指導	①模擬試験の結果。 ②センター試験結果。 ③最終的な大学合格実績	①○ ②○ ③	模試結果は各学年、まずまずの成績で推移している。引き続き、緊張感を持ってセンター試験・大学入試に臨ませたい。
S英数コース	旧帝大合格実績の向上 京都大学の現役合格	1年次からの進路意識付け 国公立2次対策指導	①模擬試験の結果。 ②センター試験結果。 ③最終的な大学合格実績	①○ ②○ ③	模試結果は各学年、まずまずの成績で推移している。引き続き、緊張感を持ってセンター試験・大学入試に臨ませたい。
国際コースクラスA	国際社会で通用する英語力の基礎作り	留学の事前・事後指導の充実	外部テスト(英検・TOEICなど)	○	現高校2年生・クラスAにおいて、英検2級の合格者は16名、準2級合格者は27名(2級合格者との重複を除く)となり、準2級以上の合格者は42名となった。特に留学後の2級合格者が11名となり、一定の成果が出たように思われる。また、ベネッセ模試の1年1月、2年7月、2年11月におけるクラスAの英語平均偏差値の推移が56.3 ⇒ 57.6 ⇒ 58.2と上がっている点から生徒の留学前後の学習意欲のアップを現していると考えられる。今後、英検2級の合格者増、更に準1級合格を目指し、指導していきたい。
国際コースクラスB	国際社会で通用する英語力の基礎作り	留学の事前・事後指導の充実	外部テスト(英検・TOEICなど)	○	留学をおえて、リスニング力の大きな向上が見られる。一方、留学期間中の国語力の低下が気にかかるので、今後の英語力の更なる向上のためにも国語力の養成に力を注ぎたい。また、1年次の科目を2年3学期で引き継ぐという、カリキュラム上の制約もありながらも、受験に直結した指導を行う必要も感じている。

VI. 各部の目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
教務部	行事予定の見直し 教務内規の整理 e-教務のマニュアル作成	①7月教務研修会の充実 ②小まめな部会を実施していく ③2学期には教務内規を整理する チームを作成する。		○	①③については出来た②は時間の制約がきびしく難しかった。
生活指導部	①自主規律の確立 ②挨拶の励行 ③遅刻防止	①自主規律HRの活用 ②自治会指導部との連携 ③遅刻管理システムの活用 ①②③とも特別生活指導週間、始業式終業式などでの呼びかけ	①実施内容のレビューとワークシートのフィードバック ②生徒教職員への意識付け ③昨年比数値	◎	遅刻数、問題行動の数値も減り、自主規律の向上が見られた
自治会指導部	①自主規律の確立 ②自治活動の活性化 ③学校行事の発展・教員の役割分担	①HR委員会・各種委員会の活性化 ②方針、会則等の確認 ③各行事の準備段階で分業する。	①各委員会の総括 ②総括アンケート ③各行事の実行委員の獲得と意識化・役割の明確化	①△ ②○ ③○	評議委員会、文体連の各長を決定し、活動が再開できるようになった。継続して各委員会が自主的に活動できるように指導をする。執行部が総括アンケートをまとめ課題を少しずつはあがるが改善しよう努めている。各行事の実行委員数は激増しており、役割分担等も出来始めている。
進路指導部	進路指導環境の充実	①推薦内規の改訂 ②進路スケジュールを基とした計画的進路指導の実現	①複雑な推薦内規をわかりやすくする。	○	内規の改訂には時間がかかる。次年度にまたがっての改訂となる。進路指導については、スケジュールどおり各学年遂行できた。

VII. 各室の目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
情報処理室	快適なIT環境の整備	①教務ソフトのデータ準備 ②授業アンケートの集計処理 ③ネットワーク・IT機器の保守	ネットワーク障害や機器の不調・不良が生じたときの迅速な対応ができていくか	①○ ②○ ③△	ノートPCの劣化が激しく、対応に追われている。早急に対応していきたい。
入試統括室	①中学校募集の確保 ②全教職員体制による入試・募集・広報活動	すべての教職員が桃山の一人として生徒募集・広報活動に対する意識を高める。積極的に中学校訪問、校内・校外説明会に参加・協力する。	室委員会などで評価する	○	数多くの説明会に参加し広報活動に努力した。インターネット出願の広報に努める。

いのちの教室	(1)生徒と教職員の笑顔が教育活動の根底に据える	(1)AED講習を実施する(関係者) (2)東北ボランティアの発展 (3)地域との連携強化	教職員・生徒は年1度は全員参加	①○②○ ③○	①例年どおりかなり定着してきている。②については、熊本へ変更になった。響プロジェクト講演会を外部の方も参加できるようにしたが、より多くの方に参加していただけるようになってきた。
危機管理室	①全構成員の危機管理意識の充実 ②防災訓練等の充実	①危機管理マニュアルの見直し ②教職員研修の充実 ③避難訓練などの充実	①冊子の改定発行②研修会が自実施されたか③避難訓練が充実したものになった	①○ ②○ ③○	アンケートの結果では学校の安全、危機管理に対する保護者、教員の評価は非常に高い数値になっています。今後も高い評価が得られるように充実させたい。今年度は危機管理に関連する以下の取り組みを実施した。5月上旬「いのちをたせつにするマニュアル(保護者版)」を改定し全校生を通じて保護者に配布した。また、それに関連して保護者専用ホームページを開設して危機管理マニュアルなどの情報を充実しました。 5/26 予定されていた避難訓練は中止としました。9/5 大阪府民 880 万訓練参加 本校独自の避難訓練もあわせて行いました。10/20 不審者侵入対応訓練を実施。不審者訓練用のビデオを改定して充実させました。一時行動がすぐできるように防犯ベルなどさらなる改善を検討する必要があります。熱中症対策、災害時の安否確認など今後さらに検討する必要があります。

Ⅷ. 各委員会の目標(1)					
	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
宗教教育委員会	①PSTISの紙面で教職員・生徒の活動や意見なども取り上げられるように。 ②BSA活動・聖歌隊活動の育成。 ③いろんな教職員が礼拝や宗教活動に関わってもらえるように配慮。	BSA・聖歌隊の活動が安定的になるように支援。 宗教行事の実行や礼拝式文の中で、できるだけ教職員・生徒の参加する部分をつくる。	実際の紙面、実際の活動によって評価	①○ ②○ ③○	①おおむねできた。 ②おおむね活況に行えた。 ③礼拝での生徒が担う役割が徐々に増加した。教職員の礼拝への理解と協力体制も深まった。
国際コース委員会	グローバル化の進む世界で、将来、生徒たちが活躍するための基礎作りのためのカリキュラムを検証する。	昨年度から開始した高1の「国際理解」の「ジャパノロジー(和学)」の改良に取り組む。	アンケートなどを通じ、改良の進捗状況を評価	○	昨年度より始まった台湾研修の経験を踏まえ、今年度は和学の授業内で生徒に台湾の調べ学習を行わせた。和学の観点から特に日本との関わりで重点を置いたレポートになるよう指導した。生徒の取り組みは概ね、積極的に意欲的なものだった。
保健指導委員会	生徒による保健活動	生徒保健委員会の充実	生徒保健委員会の実施内容	○	感染症の流行を防げるよう対策を考える
生徒支援委員会	生徒支援体制の構築	①支援委員が生徒対応に動く ②支援生徒の緊急度判断 ③支援委員が自主研修にはげむ ④アドバイザーの利用	転、退学者の減少 教員の評価	①△ ②○ ③△ ④◎	アドバイザーの活用により支援目標の明確化が可能になった。支援委員増員と役割の明確化が課題。
人権教育委員会	キリスト教の精神に基づき、憲法の精神、人権を守る精神を大切に部活差別・民族差別・障害者差別・性差別・平和等について正しい認識を持ち、あらゆる差別について理解を深める。	各学年2回の人権HRを実施する。	各学年での人権教育の実施の際の生徒からの感想文	○	各学年2回の人権HRを実施した。「われわれの意見」として感想文をまとめることができた。
EP委員会	少しでも多くの生徒にEP留学のことを知ってもらい、渡米留学に興味を持ってもらう	EP紹介のHRの活用、EP留学に関するプリントの配布	渡米留学に応募する人数を30名以上集める	○	渡米留学の応募生徒は30名に届かなかったが、国際コースクラスAの2年生にも枠を広げたこともあり志願者は倍増した。同じ流れが続くように、留学より帰国した生徒の協力もあおってより多くの生徒に興味を持ってもらう。
修学旅行委員会	石垣島も民家泊とした。 アスリートクラスの校外活動の実施を継続	アンケートを実施。	実施したアンケートをもとに来年度の計画をたてる	○	実態をもとに総括をし、引継ぎも行った。

Ⅸ. 各委員会の目標(2)					
	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
カリキュラム委員会	よりよいカリキュラムの作成			△	今年度はカリキュラムの変更はなかった
アスリート委員会	5クラブ、全国大会出場。卒業後の進路について。	強化合宿の充実。スポーツ推薦の開拓と指定校推薦枠の充実。	近畿・全国大会への出場を最低目標に、全国での上位進出を目指したい。	○	目標到達に向け、来年度は一層の努力を促したい。
予算委員会	予算の適正配分と適正執行	予算委員会での議論	委員会ででの振り返り	○	予算をより適切に配分することや、削減することはまだまだ可能であると思われる。
入試委員会	的確な問題作成とガイドラインの設定 国際コース面接廃止の影響 封入作業時のミス防止	問題作成においてはスケジュールにゆとりを持たせる。ガイドラインは多角的に検討する。封入作業はできるだけ作業内容をへらす。		○	的確なガイドラインは設定できた。来年度も同じガイドラインにしたい。封入時のミスは今年もあった。来年度対策を強化した。
補導調整委員会	①補導案件の未然防止 ②適正な補導措置の実施	①日常および特別生活指導週間、始業式終業式などでの呼びかけ ②生徒の事情、学年間・案件による差異の出ないよう慎重な議論	①補導案件の減少 ②措置生徒の更正	◎	適正な補導措置を講ずることができ、問題行動のあった生徒の成長を促せた。

Ⅹ. 各教科の目標(教科会議)					
	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
国語科	教科指導力の向上	①定期考査をベースにし、記述力を強化。 ②授業見学の活性化	記述問題で得点出来るよう、定期考査及び授業での創意工夫。	①○ ②△	授業に関しては一部うまくいっていないところも見受けられた。次年度は更に改善に努めていきたい。
地歴公民科	生徒の学力実態・目標に応じた指導力の向上	①新課程・入試改革への対応検討 ②デジタル教材・データの蓄積・共有 ③教科指導力向上	①今後の入試制度・新過程に応じたカリキュラムの検討 ②電子黒板で活用できる教材の蓄積・入試問題データベースの整備 ③研修・セミナー等への参加促進	①○ ②△ ③△	①具体的な情報がまだ得られない状況で、検討は来年度以降にならざるを得ない。新課程に対応するための研究会には継続的に参加できている。 ②入試問題データベースの更新は続けているが、利用するための校内ハードが充実していないため利用促進に限界がある。 ③新課程に関する研究会、研究発表発表会への参加が増えてきている。自発的な相互の授業見学も実施されている。一方で、模試等データにおける変化はいまだ表れていない。

数学科	教科指導力の向上	①授業見学をより活発に行う ②新過程の教材研究 ③大学入試問題の研究	生徒が定期考査で着実に知識を習得していることを実感し、かつ模擬試験の成績に結び付く	①○ ②△ ③○	教材の共有や知識の共有が活発にできたと感じる。模擬試験等の結果は中高全体でも順調に推移し、安定している。他の科目とのバランスを取りながら更なる向上を目指したい。
理科	大学合格実績の向上	①授業見学とその技術の共有 ②新課程大学入試問題研究 ③高3講習を全員で担当	①どどん見学する、される。 ②模擬試験の結果 ③最終的な大学合格実績	①△ ②○ ③△	非常勤の先生を巻き込んだ授業見学ができなかった。
英語科	教科指導力の向上	・授業見学の充実 ・学年・コースでの指導法の共有 ・入試改革の情報共有	①授業見学がなされているか。 ②指導法が共有されているか ③入試改革の情報共有されているか	①○ ②○ ③△	結果につながる英語力をつけるため英語科全体で切磋琢磨しています。徐々にではありますが、全国模試の結果が向上しています。2020年問題の研究がおろそかになってしまいました。
保健体育科	教科指導力の向上	授業見学の強化	実践力がしっかりと身につけているか		授業見学をもう少し増やしていきたい。
芸術科	①授業力の向上	①授業見学の強化	①実践力がしっかりと身につく、作品・演奏の質が高まっているか ②実技の指導力が高まっているか ③綿密な打合せの場が確保されているか	○	授業見学については実施が十分ではないので、次年度は改善したい。
情報科・技術科	①授業力の向上 ②授業内容の改善・充実	①授業見学の強化 ②教材の改善・打合せの充実	①実技の指導力が高まっているか ②綿密な打合せの場が確保されているか	①○ ②○	授業見学を増やし、活発に意見を言い合えるようにしていきたい。
家庭科	基礎知識の習得	授業見学の強化・打ち合わせの充実	実技や知識の習得が出来ているか	○	座学と実習とバランスよく実施できた
宗教科	①学年毎のシラバスの継続性 ②授業内容の充実 ③学院方針アイデンティティ教育の実施	①教科会議で打ち合わせを密に ②授業研究を積極的に ③高1の総合(アンデタイム1)で1~2コマ程度行う ④道徳の教科化に向けた検討	教科会議での振り返り	①○ ②○ ③○ ④△	①担当者間での確認継続。 ②年々工夫が見られる。 ③おおむね実施できた。 ④大きな変更はないと思われることから早急な対応策は打っていない

X その他	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標(目標)	自己評価	自己評価のコメントと今後の課題
職員会議	(1)会議の円滑化・時間短縮(2)活発な意見交換、発言の機会の充実	①議題の整理②報告の工夫③タイムキーパーを置く(時間を切る)	①審議事項において活発な議論がなされているか②必要な情報共有はなされているか。③時間は守られているか。	①△ ②○ ③◎	月一度の開催を節目に、社内メールなどで情報共有、会議の効率化に努めました。また、審議事項も予告し、小会議などでも議論していただく工夫をしてきました。教員アンケートでは、職員会議に対する評価は他に比べて数値が低くなっています。次年度もさらなる情報共有、意見交換、意思統一の場として改善が求められます。
運営委員会	(1)会議の円滑化・時間短縮(2)現場の状況を把握し共有する	(1)①議題の整理②報告の工夫③タイムキーパーを置く(時間を切る)(2)情報交換の方法の工夫	①審議事項において活発な議論がなされているか②必要な情報共有はなされているか。③時間は守られているか。	①◎②◎ ③◎	校務運営の要として、活発な議論が行われてきました。今後も、情報共有、意見交換、意思統一の場としてさらに充実させる必要があります。
M1プロジェクト	各学年の模試の状況把握	年間4回の会議	全教員による模試の状況把握	○	年間3回の会議を行い、模試の多面的な分析を行った。また、今後の模試の受験のあり方も検討した。
判定会議	(1)会議の円滑化・時間短縮(2)判定基準の明確化と共有	(1)①議題の整理②報告の工夫③タイムキーパーを置く(時間を切る)(2)会議の資料と報告の工夫	(1)①審議事項において活発な議論がなされているか②必要な情報共有はなされているか。③時間は守られているか。(2)事前に情報共有をし審議の争点が明らかにされているか	①○②○ ③○④○	事前に打ち合わせを行い、争点などを整理し、スムーズな議事進行を行いました。
事務室	①業務改善およびミスのない会計業務運営 ②施設・設備保全計画の立案 ③効果的な生徒募集広報の実行	①業務計画の可視化と業務分担見直しをおこなう ②温水プール施工、教室増設計画に加え、長期保全計画立案に取り組み ③効果的な広報戦略を立案、実行して中高ともに予算定員を確保する	①業務改善により一人当たりの平均残業時間対前年比マイナス10%。授業料、預り金は元帳と件数調の一致 ②ミスなく予算内で実行する ③予算定員の確保	①◎②○ ③○	①授業料管理、預り金管理ともにミスなく運営できた。職員一人あたり平均超勤時間は対前年比30%減を達成。次年度は新しく専任職員が入ることもあり、業務管理体制の変更を計画。 ②次年度以降に実施予定の大規模修繕計画を立案して予算案を提出、常務理事会で承認済み。次年度は各部門と調整しながら大規模修繕工事を実施予定。 ③塾、資料請求者向けのメルマガを計画的に発信。HPでのイベント告知、新規導入したウェブ出願はトラブルなく掲出、運営できた。
保健室	健康課題の自己解決	来室生徒への自己選択指導	時間をかけた対応・生徒の反応	△	来室者が多く、時間をかけた対応は△。自己選択を促すことは○。個別の保健指導をより充実していきたい。
図書館	(1)図書館利用と読書の推進 (2)図書館登校生徒への対応の充実 (3)魅力ある書架づくりと、迫る書庫狭量化を防ぐ	(1)「図書館だより」等の広報の充実と、進路(大学・職業)調べ資料の充実をはかる。小論文入試対策を意識した選書や広報を行う。 (2)生徒支援担当者、カウンセラーとの情報交換を行う。 (3)利用度と発行経過年数をもとに閲覧室書架の本を書庫に移動し、書庫にある図書等の除籍を適切に進める。書架にインデックスを増設し、本を探しやすくする。	(1)過去データとの比較 (2)生徒の思いを大切にしつつ、精神的な安定と、教室復帰を目標とする。 (3)閲覧室書架の棚の各ゾーンに適切に空きスペースがある状態を作る。	①○ ②○ ③◎	年度末に書庫の緊急蔵書点検を行った(継続中)。その事と関連する作業が2017年度当初も続(が、書庫の狭隘予防と開架の図書の入れ替えを継続して実施したいと考える。図書館登校の生徒について、教室に入る機会が増えたり、教室復帰した生徒もおり、図書館で過ごす効果があったと考える。
同窓会	会議などには多く出席できるようにする	常任委員会の出席		○	卒業生の教員に多く会費を払ってもら
PTA	前任事務担当者から教員・職員が引き継いだ内容を吟味し、各担当者に適切に業務の再分配を行う。	PTA活動の準備内容等の情報を担当教員、職員、PTA役員保護者と共有する。	PTA担当教職員による振り返り。	○	PTA役員の皆様のご協力のもと、大きなトラブルも無く、新体制をスタートできた。

2016年度 第39回

『桃高生の生活と意識に関する調査』

2016年5月実施

(1) 調査人員

	クラス数	回答数	生徒数
1年	18	734	744
2年	19	688	756
3年	17	613	630
合計	54	2035	2130

※国際コース2年クラスB39名(カナダ留学中)、EP等留学13名は生徒数に含んでいる。

在籍生徒数は5月1日現在。

(2) 調査方法

アンケート項目54項目、マークシート方式で集計した。

(3) 調査結果の数値

パーセンテージ(%)で表した。

(4) 表中の数値は上段が今年度、下段が昨年度のものである。

表中の右端、'06 は2006年度の数値であるが、データなしのため空白。

(5) 項目分析担当者

2012年度から分析を省略

桃山学院高等学校
生活指導部

1.あなたが桃山に入学した動機は何ですか

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1) 自由な校風や建 学精神が気に入った	23.3	19.4	21.9	21.6	
	22.8	21.5	23.0	22.5	
(2) 服装が自由だし高 校生活がエンジョイで	17.2	16.8	10.7	15.3	
	16.6	15.7	14.3	15.6	
(3) 有名大学への合 格者が多い	3.8	2.0	1.8	2.6	
	4.8	2.5	1.4	3.1	
(4) 自分の学力や能 力に合っていた	15.0	18.8	20.6	17.8	
	14.1	16.9	21.8	17.2	
(5) 併願校	19.3	22.5	21.6	21.0	
	19.7	22.4	20.0	20.6	
(6) 中学の先生や両 親に進められ	5.7	7.8	8.9	7.3	
	6.8	8.2	6.4	7.1	
(7) クラブ活動が活 発	6.2	6.2	4.7	5.8	
	5.4	5.7	6.4	5.8	
(8) 大学が併設され ている	0.4	0.2	0.1	0.3	
	0.4	0.3	0.4	0.3	
(9) 国際コースがあ る	8.2	4.4	8.3	6.9	
	7.6	5.8	5.6	6.5	

2.現在の学校生活に満足していますか

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1) 非常に満足	35.2	20.4	18.3	25.1	
	30.9	21.7	18.2	24.1	
(2) 満足している方	54.2	66.0	62.2	60.6	
	56.1	59.8	63.4	59.5	
(3) あまり満足して いない	8.5	10.2	14.7	10.9	
	10.7	15.3	15.8	13.7	
(4) 不満だ	1.8	2.5	3.6	2.6	
	1.5	2.2	1.9	1.8	

3.あなたの学校生活に対する満足感とは何ですか

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)自分の学力を伸ばしてくれる	14.9	13.8	13.8	14.2	
	14.0	15.3	10.3	13.2	
(2)よい友人を得た	41.7	41.7	41.0	41.5	
	40.5	42.1	46.5	42.8	
(3)クラブ活動や学校行事が活発	10.3	11.7	8.6	10.3	
	11.9	11.8	9.1	11.0	
(4)よい先生にめぐり合えた	7.3	8.5	9.8	8.4	
	6.5	9.0	10.5	8.5	
(5)希望する大学の進学準備ができる	3.6	5.6	6.0	4.9	
	5.0	2.9	5.7	4.6	
(6)個性が認められ、人間的な成長を目指す	6.0	6.8	5.5	6.1	
	5.8	5.3	4.5	5.3	
(7)自由で主体的な生活ができること	13.5	7.9	10.3	10.7	*
	12.6	9.5	8.6	10.5	
(8)満足していないので答えられない	2.6	3.4	4.1	3.3	
	3.2	3.9	4.3	3.7	

(7)は2015年度より質問項目を変更

4.桃高において教育上プラスと考えられる点は

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)先生が教育熱心で指導力がある	19.4	21.3	22.6	20.9	
	19.3	24.8	27.3	23.3	
(2)教育方針や校風がよい	22.9	23.9	18.2	21.9	
	26.8	20.2	19.5	22.7	
(3)教育施設が整っている	28.8	28.9	37.9	31.4	
	29.8	28.9	32.4	30.3	
(4)生徒一人ひとりに指導が行き届いている	4.5	3.9	3.2	3.9	
	3.7	4.4	3.4	3.8	
(5)クラブ活動や学校行事が活発	17.6	15.8	13.0	15.7	
	16.5	16.6	12.5	15.3	
(6)教育内容が精選され学力に見合った指導がされている	4.9	3.5	2.3	3.7	
	2.4	3.0	2.4	2.6	

5.桃高において教育上マイナスの点

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)先生がサラリーマン化して、親しみが持てない	15.9	12.5	10.9	13.2	
	20.1	13.6	9.1	14.6	
(2)教育方針や校風がよくない	7.3	8.7	10.2	8.7	
	4.8	9.5	12.7	8.8	
(3)教育環境や施設がよくない	6.3	4.4	6.6	5.8	
	3.2	4.8	5.9	4.6	
(4)生徒一人一人に指導が行き届いていない	34.7	34.1	34.2	34.4	
	36.2	35.0	32.0	34.4	
(5)クラブ活動や学校行事が低調	8.3	15.5	20.6	14.6	
	8.3	18.3	23.0	16.1	
(6)授業がいい加減、学力に見合った指導がされていない	10.7	10.9	10.0	10.6	
	7.0	8.2	7.1	7.4	

6.あなたは授業に満足していますか

大まかな印象で

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)満足している	22.8	17.0	19.3	19.8	
	20.1	18.0	21.8	20.0	
(2)だいたい満足している	61.3	64.1	62.0	62.5	
	65.5	65.2	63.1	64.6	
(3)あまり満足していない	12.4	14.4	14.2	13.6	
	12.1	13.2	11.1	12.1	
(4)満足していない	3.0	3.5	3.6	3.3	
	1.9	3.1	3.1	2.6	

7.あなたは学校の授業を理解していますか

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)十分理解している	11.2	10.8	15.5	12.3	
	7.9	11.7	15.7	11.5	
(2)まあまあ理解している	63.1	68.2	66.6	65.8	
	67.7	67.1	70.7	68.5	
(3)分からないことが多い	23.7	18.0	15.3	19.3	
	23.0	18.2	10.3	17.5	
(4)全く分からない	1.4	1.7	1.1	1.4	
	0.8	1.9	1.9	1.5	

8.授業について、さらに望むとしたら

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)宿題を多くする	1.7	1.9	2.4	1.9	
	1.2	2.4	3.2	2.2	
(2)進度を速める	2.6	4.0	9.5	5.0	
	3.8	5.9	8.3	5.8	
(3)進度をゆっくり	23.7	17.8	11.6	18.3	
	25.2	16.0	6.6	16.9	
(4)授業を静かに受けさせる	2.5	4.1	7.2	4.4	
	4.7	3.3	5.4	4.5	
(5)内容を難しくする	2.8	2.9	4.7	3.4	
	3.0	4.4	5.3	4.1	
(6)内容をやさしくする	5.9	7.7	7.2	6.9	
	8.5	7.1	4.2	6.8	
(7)もっと余談を入れて面白くする	28.1	21.1	12.7	21.4	
	25.9	23.7	13.6	21.6	
(8)現状のままでよい	19.8	23.0	30.6	23.9	
	20.5	23.9	40.9	27.6	
(9)先生の力量をあげてほしい	12.2	16.5	13.2	13.9	
	6.4	12.6	12.5	10.1	

9.あなたは学習に取り組む意欲を持っていますか

大まかな印象で

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)おおいに持っている	13.4	12.5	19.1	14.8	
	14.1	11.5	20.3	15.3	
(2)持っているほうだ	56.1	54.5	53.2	54.7	
	56.8	48.7	56.3	54.2	
(3)あまり持っていない	24.8	27.5	23.5	25.3	
	25.0	33.5	19.1	25.6	
(4)持っていない	4.2	3.8	2.5	3.5	
	2.0	5.1	2.8	3.2	

10.あなたが授業に集中できないとしたら理由は

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)睡眠不足	36.5	37.2	31.6	35.3	
	38.0	32.7	37.9	36.3	
(2)体調不良	5.5	6.8	8.6	6.8	
	7.9	6.8	9.8	8.1	
(3)なんとなく心が落ち着かない	5.6	6.3	8.6	6.7	
	4.6	7.7	8.4	6.7	
(4)授業以外のことに 関心がある	6.3	7.2	9.4	7.5	
	5.8	9.4	7.4	7.4	
(5)授業がわかりにくい	19.5	17.3	11.4	16.4	
	18.9	13.6	10.2	14.7	
(6)授業がおもしろくない	18.7	18.1	17.6	18.2	
	16.7	21.4	14.6	17.5	
(7)授業中騒がしい	2.9	4.5	8.3	5.0	
	4.8	4.1	5.2	4.7	
(8)授業に集中している ので問題はない	4.6	2.3	3.6	3.5	
	3.0	4.0	6.0	4.2	

11.あなたのクラスの雰囲気は

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)落ち着いて非常 によい	35.0	26.7	20.2	27.8	
	33.6	22.2	28.2	28.5	
(2)まあまあよい	58.5	62.2	64.9	61.7	
	59.3	65.9	57.4	60.7	
(3)あまりよくない	4.1	8.6	10.4	7.5	
	4.7	8.5	11.3	7.9	
(4)ぜんぜん	1.4	1.5	2.9	1.9	
	1.7	2.6	2.2	2.1	

12.心から話せる人がいますか

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)同じクラスの人	31.9	24.6	36.5	30.8	
	31.3	32.1	35.7	33.0	
(2)同じクラブの人	7.9	15.7	15.5	12.8	
	3.8	14.6	15.2	10.7	
(3)以前同じクラスの人	2.7	22.8	15.5	13.4	
	4.0	17.5	18.8	12.8	
(4)中学時代の同級生	46.3	24.1	19.7	30.8	
	50.9	23.3	19.9	32.6	
(5)いない	8.3	10.5	10.0	9.5	
	7.6	9.2	8.1	8.3	

16.本校の自主規律について

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)十分自覚している	30.9	24.9	25.6	27.3	
	29.6	28.7	28.3	28.9	
(2)一応自覚している	57.5	58.0	57.3	57.6	
	59.4	55.9	55.4	57.1	
(3)余り自覚していない	10.0	14.8	14.2	12.9	
	9.4	12.9	14.4	12.1	
(4)無視している	0.8	1.5	1.8	1.3	
	1.2	1.7	0.8	1.2	

22.いじめについて

桃高における体験(2つまで可)

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)自分がされたことがある	0.8	3.0	3.7	2.4	
	1.5	3.8	4.0	3.0	
(2)自分がしたことがある	0.1	1.2	1.8	1.0	
	0.8	2.3	1.9	1.6	
(3)他の生徒がされているのを見たことがある	2.2	5.3	7.2	4.8	
	2.3	9.1	5.4	5.3	
(4)桃高でいじめがあると聞いたことがある	3.3	5.9	7.5	5.4	
	2.5	10.5	12.4	8.1	
(5)そのようなことは全くない	93.2	83.4	77.7	85.2	
	91.8	73.3	75.3	80.9	

23.いじめについて

幼小中における体験(2つまで可)

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)自分がされたことがある	12.8	19.6	19.3	17.1	
	17.3	19.2	17.5	18.0	
(2)自分がしたことがある	7.6	8.5	12.8	9.5	
	7.0	11.9	8.8	9.0	
(3)他の生徒がされているのを見たことがある	21.5	23.8	20.7	22.0	
	26.0	22.1	23.6	24.1	
(4)桃高でいじめがあると聞いたことがある	1.3	1.4	2.3	1.6	
	1.1	1.8	1.6	1.5	
(5)そのようなことは全くない	55.5	45.1	42.2	47.9	
	46.8	43.6	47.4	46.0	

24.一般的にいじめの原因として考えられることは

2つまで可

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)学校の締め付けによるストレス	6.4	8.4	5.7	6.9	
	6.6	7.5	7.6	7.2	
(2)先生の暴力	0.7	1.1	1.1	0.9	
	0.7	1.8	1.4	1.2	
(3)勉強や受験によるストレス	8.0	7.9	8.1	8.0	
	9.4	9.8	7.0	8.8	
(4)家庭・親子関係によるストレス	10.0	8.2	11.2	9.7	
	9.4	9.9	11.9	10.4	
(5)テレビ番組や漫画・ゲームの影響	3.2	3.2	2.4	2.9	
	2.9	2.9	1.9	2.6	
(6)社会にいじめの風潮がある	12.0	17.0	16.4	15.0	
	15.9	14.4	14.9	15.1	
(7)仲間外れにされたくない	34.5	34.8	31.7	33.8	
	34.0	30.1	32.4	32.3	
(8)いじめられる側にも問題がある	23.6	17.6	22.1	21.1	
	16.9	23.0	21.8	21.3	

38.放課後や家庭で、平均どれくらい勉強していますか

※自習ステージ、塾等の学習時間を含む(04年度は家庭のみの学習時間)

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)30分以下	22.8	27.2	14.4	21.7	
	17.1	27.0	10.3	17.9	
(2)1時間程度	29.2	29.2	13.9	24.6	
	27.8	30.6	15.0	24.5	
(3)2時間程度	30.1	28.5	23.8	27.7	
	30.1	24.8	25.4	27.0	
(4)3時間程度	14.7	10.8	27.4	17.2	
	19.1	13.1	26.1	19.6	
(5)4時間程度	2.3	2.5	15.8	6.4	
	4.6	3.1	17.5	8.3	
(6)5時間以上	0.3	1.0	3.3	1.4	
	0.9	0.9	5.0	2.2	

39.現在、塾・予備校・家庭教師で学習していますか

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)塾・予備校に行っている	15.3	21.2	42.1	25.4	
	16.5	18.5	53.4	29.0	
(2)家庭教師をつけている	1.2	1.6	1.8	1.5	
	1.5	1.5	1.9	1.6	
(3)塾・予備校に行き、家庭教師もつけている	0.8	0.9	2.0	1.2	
	0.7	1.9	0.9	1.1	
(4)塾・予備校・家庭教師もなし	82.3	75.6	53.2	71.3	
	81.4	77.8	43.4	68.0	

40.大学入試センター試験について

学年・年度 項目	1年	2年	3年	全体	'06
(1)受験する	56.1	66.9	71.1	64.3	
	56.4	63.2	76.8	65.0	
(2)受験しない	3.3	6.8	10.6	6.7	
	4.4	7.1	8.9	6.7	
(3)受験は進められるが、余り気が進まない	4.2	6.0	6.7	5.6	
	3.8	4.6	4.5	4.3	
(4)受験するつもり	35.2	19.6	10.4	22.5	
	33.6	23.9	9.1	22.8	